

小久保 照枝 議員
公明党

問 肺炎球菌ワクチンの独自助成を
答 国の動向を注視する

問 ※① 20 価肺炎球菌結合型ワクチン（以下、PCV20）導入の理由は。

答 健康福祉部長 PCV20 の方が※② 23 価肺炎球菌多糖体ワクチン（以下、PPSV23）より高い有効性が期待できるため。

問 PPSV23 の効果は。

答 一般的効果は 5 年。

問 すでに PPSV23 を接種した高齢者への PCV20 接種の考え方は。

答 任意接種となり 1 年以上間隔を置いて PCV20 又は、21 価肺炎球菌結合型ワクチン接種（以下、PCV21）は可能。

問 制度の狭間にある高齢者への対応の必要性は。

答 接種による予防効果はあるので任意接種となるが、対象者には PCV20 や、PCV21 の接種を検討してほしい。

問 満 66 歳以上の未接種者を対象に PCV20 の助成事業を実施しては。

答 国の動向を注視し、方針に従い実施。

※① 20 種類の肺炎球菌の型に対応し、1 回の接種で長期間の免疫効果が期待できる結合型ワクチン。
※②肺炎球菌の約 100 種類の血清型のうち、重症化しやすい 23 種類を防ぐための多糖体ワクチン。



イメージ

問 若者のやせと骨粗しょう症対策を
答 一体的に取り組めるよう推進

問 若い女性の低体重・低栄養の認識は。

答 健康福祉部長 重要な課題として認識。

問 30 歳以上を対象とする骨粗しょう症検診の導入は。

答 若い頃から検診を受診できるよう対象年齢の拡充を検討。

問 若い世代の健康意識を高めるヤング健診の推進は。

答 生活習慣の改善へ繋げる上で有効と考える。

問 学校教育における栄養教育や身体イメージ教育、骨粗しょう症予防の啓発は。

答 教育部長 児童生徒が自ら健康を主体的に守る意識を育てられるよう、学校・家庭・専門職が連携し取り組んでいる。

問 若い女性のやせ対策と骨粗しょう症予防を一体的に進める中長期的な方針は。

答 市長 第 3 次弥富市健康増進計画における基本方針に基づき、若い世代、特に 20 代・30 代のやせ対策と骨粗しょう症予防を一体的に取り組めるよう推進していく。



イメージ